

生計費申告書

見本1

毎月、認定対象者の生計費の実費を負担している場合(定額支援なし)の記入例

- 世帯人数(被保険者と同居):4人
- 家族構成:父・母・妹・被保険者
(※別居をしている被保険者の弟が仕送りしている)

誓約書

この申告書について下記の通り申告いたします。なお、この生計費について、誤りはなく、今後訂正しないこととなることを組合が確認し、扶養認定基準を満たさないことが発覚した場合には、組合の権限を行使させていただきます。

令和 4 年 7 月 11 日

被保険者保険証記号 11 番号 12345

氏名 健保 太郎

※自署又は記名・捺印

健

認定対象者の生計費負担分や個人に切り分けられない世帯生計費負担分(居住費・水道光熱費・食費等)は含まずに記入。

被保険者の収入状況等

可処分所得	月額(手取り額を記入)		直近	円
	金額	円		
	300,000	円	直近	円
給与・賞与以外の収入		円/月	【内訳】	※左記の収入を示す書類を提出
被保険者の月額生計費	80,000	円/月	備考	

認定対象者を含めた認定対象者世帯人数を記入。

認定対象者の情報

被保険者から見た続柄で記入。

氏名	健保 花子	性別	女	続柄	母	生年月日	昭和33年5月1日	年齢	63 歳	
収入	0	円/月	住所	〒123-4567 福島県白河市〇〇1-2-3						
同居状況	同居	別居	世帯人数	4 人	家族構成	父、母、妹、被保険者				
被保険者が認定対象者を扶養にする理由	母は収入がなく、自身の生活費を負担できない。また、父の収入が少なく、母を扶養する経済的能力がない、かつ、被保険者が母の生活費を主に負担しているため。									

認定対象者の生計費(月額)

(例) ■住居費の一人当たりの金額
①全体の金額 ÷ ②世帯人数 = 一人当たりの金額
50,000円 ÷ 4人 = 12,500円

生計費(B)は、必ず認定対象者の住まい分のみ記入。
(例)被保険者と認定対象者が別居の場合
⇒被保険者の住まい分の費用は含めずに記入。

持ち家の場合、『ローン』など具体的な費用を備考欄に記入。

項目	生計費(A)【認定対象者のみ】		生計費(B)【個人に切り分けられない世帯生計費】		備考
	金額	負担者(内訳を記載)	①全体の金額(対象者世帯全員)	一人あたりの金額(全体÷世帯人数)	
1 住居費			¥50,000	¥12,500	父 持ち家・賃貸 / 名義: 父
2 水道光熱費			¥15,000	¥3,750	父
3 食費			¥62,000	¥15,500	被保険者 ¥57,000 妹 ¥5,000
4 被服費	¥7,000	弟			
5 日用品費			¥10,000	¥2,500	被保険者
6 インターネット代			¥3,500	¥875	被保険者
7 携帯電話代	¥8,000	被保険者			
8 ガソリン代	¥5,000	被保険者			
9 医療費	¥10,000	被保険者			
10					
11					
12					
13					
小計	① ¥30,000			② ¥35,125	生計費合計(①+②) ¥65,125

被保険者から見た続柄で記入。

『各負担者の生計費(A)』の負担額を記入。

認定対象者の生計費負担について(月額)

負担者	続柄	生計費(A)	定額	生計費(B)	※健保処理欄	
					生計費1人あたり	合計
被保険者	本人	¥23,000		¥70,500		
認定対象者	母					
被 以 保 険 者	負担者1	父		¥65,000		
	負担者2	弟	¥7,000			
	負担者3	妹		¥5,000		
備考	弟は別居ですが、仕送りをしています。					

(例)被保険者の記入
■生計費(A)の負担額 23,000円
※7.携帯電話代、8.ガソリン代、9.医療費
■生計費(B)の負担額 70,500円
※3.食費57,000円+5.日用品費10,000円+6.インターネット代3,500円

※申請後は一切訂正ができません。よくご確認の上、作成してください。

毎月、支援者全員が定額を認定対象者に支援している場合の記入例

- 世帯人数(被保険者と同居):4人
- 家族構成:父・母・妹・被保険者
(※別居をしている被保険者の弟が仕送りしている)

誓約書

この申告書について下記の通り申告いたします。なお、この生計費について、誤りはなく、今後訂正しないこととなることを組合が確認し、扶養認定基準を満たさないことが発覚した場合には、組合の権限を行使させていただきます。

令和 4 年 7 月 11 日

被保険者保険証記号 11 番号 12345

氏名 健保 太郎

健印

※自署又は記名・捺印

認定対象者の生計費負担分や個人に切り分けられない世帯生計費負担分(居住費・水道光熱費・食費等)は含まずに記入。

被保険者の収入状況等

可処分所得	月額(手取り額を記入) 300,000 円	直近	複数ある場合は、金額内訳を記入し、その金額がわかる書類(直近のもの)を提出。	円
給与・賞与以外の収入	円/月	【内訳】	※左記の収入を示す書類を提出	
被保険者の月額生計費	80,000 円/月	備考		

認定対象者を含めた認定対象者世帯人数を記入。

認定対象者の情報

被保険者から見た続柄で記入。

氏名	健保 花子	性別	女	続柄	母	生年月日	昭和33年5月1日	年齢	63 歳
収入	0 円/月	住所	〒123-4567 福島県白河市〇〇1-2-3						
同居状況	同居・別居	世帯人数	4 人	家族構成	父、母、妹、被保険者				
被保険者が認定対象者を扶養にする理由	母は収入がなく、自身の生活費を負担できない。また、父の収入が少なく、母を扶養する経済的能力がない、かつ、被保険者が母の生活費を主に負担しているため。								

認定対象者の生計費(月額)

(例) ■住居費の一人当たりの金額
 ①全体の金額 ÷ ②世帯人数 = 一人当たりの金額
 50,000円 ÷ 4人 = 12,500円

生計費(B)は、必ず認定対象者の住まい分のみ記入。
 (例)被保険者と認定対象者が別居の場合
 ⇒被保険者の住まい分の費用は含めずに記入。

持ち家の場合、『ローン』など具体的な費用を備考欄に記入。

※申告いただいた内容を基に健保にて判断いたしますので、すべての費用が生計費として認定されるわけではありません。

項目	生計費(A)【認定対象者のみ】		生計費(B)【個人に切り分けられない世帯生計費】			備考
	金額	負担者(内訳を記載)	①全体の金額(対象者世帯全員)	一人あたりの金額(全体÷世帯人数)	負担者(内訳を記載)	
1 住居費			¥50,000	¥12,500	負担者全員	持ち家・賃貸 / 名義: 父
2 水道光熱費			¥15,000	¥3,750	負担者全員	
3 食費			¥62,000	¥15,500	負担者全員	
4 被服費	¥7,000	負担者全員				
5 日用品費			¥10,000	¥2,500	負担者全員	
6 インターネット代			¥3,500	¥875	負担者全員	負担者は被保険者から見た続柄で記入。
7 携帯電話代	¥8,000	負担者全員				負担者全員が、定額を認定対象者に支援しており、その各支援額がどの生計費に充てられているか明確にわからない場合、負担者欄には、「負担者全員」と記入。
8 ガソリン代	¥5,000	負担者全員				
9 医療費	¥10,000	負担者全員				
10						
11	『1.住居費~5.日用品費』以外の生計費がある場合に記入。					
12						
13						
小計	① ¥30,000			② ¥35,125	生計費合計(①+②)	¥65,125

被保険者から見た続柄で記入。

認定対象者の生計費負担について(月額)

負担者	続柄	生計費(A)	定額	生計費(B)	※健保処理欄	
					生計費1人あたり	合計
被保険者	本人		¥150,000			
認定対象者	母					
被保険者以外	負担者1	父	¥60,000			
	負担者2	弟	¥30,000			
	負担者3	妹				
備考	弟は別居ですが、仕送りをしています。					

1ヶ月あたりの支援額を記入。
 (例)被保険者の支援額(定額)が月額15万円の場合、150,000円と記入

※申請後は一切訂正ができません。よくご確認の上、作成をしてください。

見本3

生計費申告書

毎月、認定対象者の生計費の実費負担と定額の支援をしている方がいる場合の記入例

- 世帯人数(被保険者と同居):4人
- 家族構成:父・母・妹・被保険者
(※別居をしている被保険者の弟が仕送りしている)

誓約書

この申告書について下記の通り申告いたします。なお、この生計費について、誤りはなく、今後訂正しないこととなることを組合が確認し、扶養認定基準を満たさないことが発覚した場合には、組合の権限を行使させていただきます。

令和 4 年 7 月 11 日

被保険者保険証記号 11 番号 12345

氏名 健保 太郎

健印

※自署又は記名・捺印

認定対象者の生計費負担分や個人に切り分けられない世帯生計費負担分(居住費・水道光熱費・食費等)は含まずに記入。

被保険者の収入状況等

可処分所得	月額(手取り額を記入) 300,000 円	直近	複数ある場合は、金額内訳を記入し、その金額がわかる書類(直近のもの)を提出。	円
給与・賞与以外の収入	円/月	【内訳】		※左記の収入を示す書類を提出
被保険者の月額生計費	80,000 円/月	備考		

認定対象者を含めた認定対象者世帯人数を記入。

認定対象者の情報

被保険者から見た続柄で記入。

氏名	健保 花子	性別	女	続柄	母	生年月日	昭和33年5月1日	年齢	63 歳
収入	0 円/月	住所	〒123-4567 福島県白河市〇〇1-2-3						
同居状況	同居・別居	世帯人数	4 人	家族構成	父、母、妹、被保険者				
被保険者が認定対象者を扶養にする理由	母は収入がなく、自身の生活費を負担できない。また、父の収入が少なく、母を扶養する経済的能力がない、かつ、被保険者が母の生活費を主に負担しているため。								

認定対象者の生計費(月額)

(例) ■ 住居費の一人当たりの金額
①全体の金額 ÷ ②世帯人数 = 一人当たりの金額
50,000円 ÷ 4人 = 12,500円

生計費(B)は、必ず認定対象者の住まい分のみ記入。
(例)被保険者と認定対象者が別居の場合
⇒被保険者の住まい分の費用は含めずに記入。

持ち家の場合、『ローン』など具体的な費用を備考欄に記入。

項目	生計費(A)【認定対象者のみ】		生計費(B)【個人に切り分けられない世帯生計費】		備考
	金額	負担者(内訳を記載)	①全体の金額(対象者世帯全員)	一人あたりの金額(全体÷世帯人数)	
1 住居費			¥50,000	¥12,500	父 持ち家・賃貸 / 名義: 父
2 水道光熱費			¥15,000	¥3,750	父
3 食費			¥62,000	¥15,500	被保険者 ¥57,000 妹 ¥5,000
4 被服費	¥7,000	(例1) 被保険者、弟			
5 日用品費			¥10,000	¥2,500	被保険者、弟
6 インターネット代			¥3,500	¥875	被保険者
7 携帯電話代	¥8,000	(例2) 被保険者			
8 ガソリン代	¥5,000	父			
9 医療費	¥10,000	(例1) 被保険者、弟			定額支援分から負担
10					
11		『1.住居費～5.日用品費』以外の生計費がある場合に記入。			
12		『各負担者の生計費(A)』の負担額を記入(実費負担分のみで、定額支援分から負担しているものは含めない)。			
13		『各負担者の生計費(B)』の負担額を記入(実費負担分のみで、定額支援分から負担しているものは含めない)。			
小計	① ¥30,000			② ¥35,125	生計費合計(①+②) ¥65,125

被保険者から見た続柄で記入。

認定対象者の生計費負担について(月額)

1ヶ月あたりの支援額を記入。
(例)支援額(定額)が月額3万円の場合は、30,000円と記入

負担者	続柄	生計費(A)	定額	生計費(B)		合計
				生計費(1人あたり)	※健保処理欄	
被保険者	本人		¥30,000	¥60,500		
認定対象者	母					
被保険者以外	負担者1	父	¥5,000	¥65,000		
	負担者2	弟	¥10,000			
	負担者3	妹		¥5,000		
備考	弟は別居ですが、仕送りをしています。					

(例)被保険者の記入
■支援額(定額)が月額 30,000円
※定額支援分から以下を負担
・生計費(A): 4.被服費、7.携帯電話代、9.医療費
・生計費(B): 5.日用品費

■生計費(B)の負担額 60,500円
※3.食費57,000円+6.インターネット代3500円

※申請後は一切訂正ができません。よくご確認の上、作成してください。